令和 　 年　 月 　 日

部 　　 課

気象防災ワークショップ（土砂災害編）実施要領

１．目的

大雨による土砂災害が懸念される状況において、気象庁などから提供される気象情報等を適切に使い、的確なタイミングで体制の強化や避難の判断を実施できるようになるための基本的な考え方を理解し、その重要性を認識する。

２．日時

令和 　 年 　 月 　 日（　 ） 13：30 ～ 16：30（3時間）

３．場所

階 室

４．参加者

災害発生時に何らかの災害対応業務に従事する職員（　　名）

　　　※特に、土砂災害発生のおそれがある場合や発生直後の対応にかかわる職員

５．内容と目標

(１) 内容

土砂災害が発生するおそれがある状況において、気象庁などから提供される様々な情報を参照しながら、５人程度の少人数によるグループ内で、体制の強化や避難勧告等の発令のタイミングなどについて検討・発表する。また、わが市の災害対策における課題や、改善のための施策について議論する。

(２) 目標

1) 防災気象情報等の発表内容に応じて、避難情報の発令を迅速に検討・判断するために必要な防災体制の考え方の基本を理解できる。

2）防災気象情報を活用して、居住者等の命を守るために必要な季節・時刻及び地域特性を踏まえた発令のタイミングと対象地域の考え方の基本を理解できる。

3）避難情報の対象となる居住者等に的確な避難行動を促すための情報伝達の考え方の基本を理解できる。

6. 実施当日のスケジュール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時刻 | 所要時間 | 実施内容 |
| 13：30 – 13：45 | 15 分 | 開始 ～ アイスブレイク  （ワークショップの目的・目標や進め方等に関する説明など） |
| 13：45 – 15：05 | 80 分 | 災害対応グループワーク  （架空の自治体を題材とした気象防災に関するグループディスカッション・発表【場面1、2】） |
| 15：05 – 15：15 | 10分 | 休憩 |
| 15：15 – 15：50 | 35分 | 災害対応グループワーク  （架空の自治体を題材とした気象防災に関するグループディスカッション・発表【場面3】） |
| 15：50 – 16：25 | 35分 | ふりかえり |
| 16：25 – 16：30 | 5分 | 講評、まとめ |

7. 事前学習

参加予定の皆様には事前学習用資料をお渡ししますので、事前に目を通していただき、内容をご理解の上でご参加ください。

8. 問い合わせ先

　　　 部 　　　 課　　　担当者氏名：

内線電話： 　　 ／メール：

以上

令和 　 年　 月 　 日

部 　　 課

気象防災ワークショップ（中小河川洪水災害編）実施要領

１．目的

大雨による洪水災害が懸念される状況において、気象庁などから提供される気象情報等を適切に使い、的確なタイミングで体制の強化や避難の判断を実施できるようになるための基本的な考え方を理解し、その重要性を認識する。

２．日時

令和 　 年 　 月 　 日（　 ） 13：30 ～ 16：30（3時間）

３．場所

階 室

４．参加者

災害発生時に何らかの災害対応業務に従事する職員（　　名）

　　　※特に、洪水災害発生のおそれがある場合や発生直後の対応にかかわる職員

５．内容と目標

(１) 内容

洪水災害が発生するおそれがある状況において、気象庁などから提供される様々な情報を参照しながら、５人程度の少人数によるグループ内で、体制の強化や避難勧告等の発令のタイミングなどについて検討・発表する。また、わが市の災害対策における課題や、改善のための施策について議論する。

(２) 目標

1) 防災気象情報等の発表内容に応じて、避難情報の発令を迅速に検討・判断するために必要な防災体制の考え方の基本を理解できる。

2）防災気象情報を活用して、居住者等の命を守るために必要な季節・時刻及び地域特性を踏まえた発令のタイミングと対象地域の考え方の基本を理解できる。

3）避難情報の対象となる居住者等に的確な避難行動を促すための情報伝達の考え方の基本を理解できる。

6. 実施当日のスケジュール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時刻 | 所要時間 | 実施内容 |
| 13：30 – 13：45 | 15 分 | 開始 ～ アイスブレイク  （ワークショップの目的・目標や進め方等に関する説明など） |
| 13：45 – 14：30 | 45 分 | 災害対応グループワーク  （架空の自治体を題材とした気象防災に関するグループディスカッション・発表【場面1、2】） |
| 14：30 – 14：40 | 10分 | 休憩 |
| 14：40 – 15：35 | 55分 | 災害対応グループワーク  （架空の自治体を題材とした気象防災に関するグループディスカッション・発表【場面3】） |
| 15：35 – 16：25 | 50分 | ふりかえり |
| 16：25 – 16：30 | 5分 | 講評、まとめ |

7. 事前学習

参加予定の皆様には事前学習用資料をお渡ししますので、事前に目を通していただき、内容をご理解の上でご参加ください。

8. 問い合わせ先

　　　 部 　　　 課　　　担当者氏名：

内線電話： 　　 ／メール：

以上

令和 　 年　 月 　 日

部 　　 課

気象防災ワークショップ（風水害編）実施要領

１．目的

大雨による土砂災害が懸念される状況において、気象庁などから提供される気象情報等を適切に使い、的確なタイミングで体制の強化や避難の判断を実施できるようになるための基本的な考え方を理解し、その重要性を認識する。

２．日時

令和 　 年 　 月 　 日（　 ） 13：30 ～ 16：30（3時間）

３．場所

階 室

４．参加者

災害発生時に何らかの災害対応業務に従事する職員（　　名）

　　　※特に、風水害発生のおそれがある場合や発生直後の対応にかかわる職員

５．内容と目標

(１) 内容

風水害が発生するおそれがある状況において、気象庁などから提供される様々な情報を参照しながら、５人程度の少人数によるグループ内で、体制の強化や避難勧告等の発令のタイミングなどについて検討・発表する。また、わが市の災害対策における課題や、改善のための施策について議論する。

(２) 目標

1) 防災気象情報等の発表内容に応じて、避難情報の発令を迅速に検討・判断するために必要な防災体制の考え方の基本を理解できる。

2）防災気象情報を活用して、居住者等の命を守るために必要な季節・時刻及び地域特性を踏まえた発令のタイミングと対象地域の考え方の基本を理解できる。

3）避難情報の対象となる居住者等に的確な避難行動を促すための情報伝達の考え方の基本を理解できる。

6. 実施当日のスケジュール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時刻 | 所要時間 | 実施内容 |
| 13：30 – 13：45 | 15 分 | 開始 ～ アイスブレイク  （ワークショップの目的・目標や進め方等に関する説明など） |
| 13：45 – 15：05 | 55 分 | 災害対応グループワーク  （架空の自治体を題材とした気象防災に関するグループディスカッション・発表【場面1】） |
| 15：05 – 15：15 | 10分 | 休憩 |
| 15：15 – 15：50 | 50分 | 災害対応グループワーク  （架空の自治体を題材とした気象防災に関するグループディスカッション・発表【場面2】） |
| 15：50 – 16：25 | 45分 | ふりかえり |
| 16：25 – 16：30 | 5分 | 講評、まとめ |

7. 事前学習

参加予定の皆様には事前学習用資料をお渡ししますので、事前に目を通していただき、内容をご理解の上でご参加ください。

8. 問い合わせ先

　　　 部 　　　 課　　　担当者氏名：

内線電話： 　　 ／メール：

以上